

【資料 4-9】他大学・公的研究機関の共同利用施設・設備の利用に関わる研究課題採択数

年度	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)
共生人間学専攻	1	1	1	1	0	0
共生文明学専攻	1		2	2	0	0
相関環境学専攻	15	9	17	15	5	4
合計	17	10	20	18	5	4

2016 (H28) 年度

● Prof. Dr. Thomas Buchheim, Fakultät für Philosophie, Wissenschaftstheorie und Religionswissenschaft der LMU München 採択課題: Schellings Philosophie der menschlichen Freiheit (Gefördert von der Deutschen Forschungsgemeinschaft) / ●神戸研究学園都市 UNITY 研究会「未来に向けた日中交流と日中相互関係」/ ●佐賀大学シンクロtron光応用研究センター「光電子分光を用いたチタン酸化物の電子構造の研究」/ ●岡山大学地球物質科学研究センター「コマチアイトの含水融解実験による冥王代地殻組成の解明」/ ●放射線災害・医科学研究拠点共同利用・共同研究 (広島大学)「低線量率放射線誘発細胞応答における酸化ストレスの関与」/ ●高輝度科学センター Spring-8「高分子結晶化時における密度揺らぎに関する研究」/ ●XAFSを用いた二酸化炭素の水素化反応中の白金種の状態解析・「 γ -レゾルシン酸分解経路遺伝子群由来 GraE タンパク質の結晶構造解析 II (2015A1112)」/ ●京大原子炉実験所「抗がん剤を担持した六方晶窒化ホウ素によるガン化学療法とホウ素中性子捕捉療法のハイブリッドナノ医療」/ ●基礎生物学研究所「日本産ミヤコグサとハマダイコン野生種における開花時期制御の種内多型に関わる遺伝的背景の解明」・「開花関連遺伝子 LjEMF2 と LjE1 がミヤコグサ (マメ科) の開花所用日数に及ぼす影響の評価」/ ●高輝度光科学研究センター「XAFSを用いた二酸化炭素の水素化反応中の白金種の状態解析」/ ●高エネルギー加速器研究機構 / ●高知大学海洋コア総合研究センター「エチオピア洪水玄武岩を対象にした約 30Ma の地球磁場変動の解析」・「人工光合成のための層状チタン酸塩光触媒における銀助触媒の XAFS による状態解析」・「レゾルシン酸代謝酵素の構造解析が支援する未知遺伝子産物の構造ゲノム科学研究 (2014G699)」・「アスパラギン酸ラセマーゼの温度適応に関する構造解析 II (2014G694)」/ ●三重大学大学院生物資源学研究所附属練習船勢水丸「京都大学総合人間学部「総合フィールド演習」の一環としての海洋観測・生物生態調査」

2017(H29) 年度

●京都大学数理解析研究所「ランダム力学系理論の総合的研究」/ ●高知大学海洋コア総合研究センター共同利用・共同研究課題「エチオピア洪水玄武岩を対象にした約 30Ma の地球磁場変動の解析」
 ●岡山大学惑星物質研究所「コマチアイトの含水融解実験による冥王代地殻組成の解明」/ ●大阪市立大学人工光合成研究センター「ポルフィリン色素の固体表面への吸着・金属光還元作用を利用した新規金属担持法の開発」/ ●東京大学物性研究所「圧力下 NMR 測定法に関する研究」/ ●佐賀大学シンクロtron光応用研究センター「レーザー光電子分光を用いた酸化物の電子構造の研究」
 ●Spring-8「硬 X 線光電子分光による擬一次元バナジウム酸化物の金属絶縁体転移の観測」・「 γ -レゾルシン酸分解経路遺伝子群由来 GraE タンパク質の結晶構造解析 II (2015A1112)」
 ●若狭湾エネルギー研究センター「後方散乱実験で核共鳴反応を伴うチャネリングの測定」/ ●放射線災害・医科学研究拠点 (広島大学・長崎大学・福島医科大学合同)「低線量率放射線誘発細胞応答における酸化ストレスの関与」

2018 (H30) 年度

●京都大学数理解析研究所「RIMS 共同研究 特別計画 (公開型) Maximal regularity and nonlinear PDE」/ ●国立民族学博物館「オセアニア・東南アジア島嶼部における他者接触の歴史記憶と感情に関する人類学的研究」/ ●神戸研究学園都市大学交流推進協議会「グローバル時代の新しい教養—未来に向けた日中交流と日中相互関係」/ ●放射線災害・医科学研究拠点 (広島大学・長崎大学・福島医科大学合同)「低線量率放射線誘発細胞応答における酸化ストレスの関与」/ ●大阪市立大学人工光合成研究センター「二酸化炭素還元のための微結晶チタン酸カルシウム光触媒の特異構造と光触媒活性の解明」/ ●東京大学物性研究所「圧力下 NMR 測定法に関する研究」/ ●広島大学放射光科学研究センター「Ca₃(Ru_{1-x}Ti_x)₂O₇ のにおける金属絶縁体転移近傍の電子状態」
 ●若狭湾エネルギー研究センター「後方散乱実験で核共鳴反応を伴うチャネリングの測定」/ ●Spring-8「軟 X 線吸収・発光分光によるルテニウム酸化物 Ca₂RuO₄ の電場誘起金属絶縁体転移の観測」・「ポリエステルのノジュール形成過程における密度揺らぎの研究」・「高分子結晶化の初期過程における密度揺らぎの研究」・「その場合高エネルギー X 線回折による全固体リチウムイオン二次電池硫化物固体電解質の形成機構解明」・「オペランド軟 X 線吸収分光測定を用いたカーボン担持硫黄正極材料の電子構造/局所構造解析」・「アニオン置換した Li 過剰系正極材料のオペランド局所構造解析」・「オペランド XAS 測定を用いた新規 Li 過剰系電極材料の電子・局所構造解析」・「圧粉体セルを用いた全固体 Li イオン電池のオペランド XAFS 計測 (3)」・「全反射 XRD によるアルカリ水電解用 Ni 薄膜アノード電極における活性点構造の解明 (1)」/ ●国立遺伝学研究所「光合成を喪失させた“藻類”における分裂制御メカニズムの解明に向けて」/ ●株式会社カネカ、フジコーワ工業、株式会社 AFI テクノロジー、三井物産株式会社「チリにおける持続可能な沿岸漁業及び養殖に資する赤潮早期予測システムの構築と運用 (Monitoring of algae in Chile)」/ ●東京大学大気海洋研究所「海洋性植物プランクトンの新規な光エネルギー利用機構の探索」

2019 (R1) 年度

●京都大学数理解析研究所「RIMS 共同研究 特別計画 (公開型) Maximal regularity and nonlinear PDE」/ ●国立民族学博物館「オセアニア・東南アジア島嶼部における他者接触の歴史記憶と感情に関する人類学的研究」/ ●神戸研究学園都市大学交流推進協議会「グローバル時代の新しい教養—未来に向けた日中交流と日中相互関係」
 ●放射線災害・医科学研究拠点 (広島大学・長崎大学・福島医科大学合同)「低線量率放射線誘発細胞応答における酸化ストレスの関与」/ ●大阪市立大学人工光合成研究センター「半導体光触媒による二酸化炭素還元野ための助触媒の開発」/ ●東京大学物性研究所「キュービックアンビルセルを用いた NMR 測定開発」/ ●東京大学大気海洋研究所「海洋性植物プランクトンの新規な光エネルギー利用機構の生理的役割の解明」/ ●Spring-8「水電解用アノード電極触媒の XRD による精密構造解析 (1)」・「アニオン置換 Li 過剰系正極材料の充放電反応に伴う結晶構造変化の解析」・「水蒸気雰囲気下での角度分解軟 X 線吸収分光法を用いた硫化物固体電解質の電子・局所構造変化の分析 (1)」・「フッ化物イオン挿入脱離時におけるペロブスカイト型酸フッ化物正極材料の電子・局所構造解析」・「全固体フッ化物イオン二次電池における金属/金属フッ化物二相境界移動挙動の解析 (2)」・「アルカリ水電解中における酸素発生電極触媒の XAFS 解析 (1)」・「Sr₂MO₄F_x (M: Mn, Co) 層状ペロブスカイト化合物の結晶構造と F 濃度に伴う構造変化」・「Li 過剰系材料 (Li, Na)₂(Nb, Mn)O₃ 及び (Li, Na)₂(Ni, Mn)O₃ の精密構造解析並びに蓄電容量と関係解明」・「課題番号 2019B1318」/ ●国立遺伝学研究所「光合成を喪失させた“藻類”における分裂制御メカニズムの解明に向けて」/ ●株式会社カネカ、フジコーワ工業、株式会社 AFI テクノロジー、三井物産株式会社「チリにおける持続可能な沿岸漁業及び養殖に資する赤潮早期予測システムの構築と運用 (Monitoring of algae in Chile)」

2020 (R2) 年度

●京都大学複合原子力科学研究所「抗がん剤を担持した六方晶窒化ホウ素によるガン化学療法とホウ素中性子捕捉療法のハイブリッドナノ医療」(代表者)
 ●京都大学複合原子力科学研究所「Gadolinium を担持したナノ粒子による Gd-NCT の基礎研究」(協力者) / ●大阪市立大学人工光合成研究センター「光触媒による新規な合成化学反応の開発」/ ●佐賀大学シンクロtron光応用研究センター「採択研究課題: 角度分解光電子分光を用いたチタン酸化物の電子バンド構造の研究 (前期)」/ ●佐賀大学シンクロtron光応用研究センター「角度分解光電子分光を用いたチタン酸化物の電子バンド構造の研究 (後期)」

2021 (R3) 年度

●京都大学複合原子力科学研究所「抗がん剤を担持した六方晶窒化ホウ素によるガン化学療法とホウ素中性子捕捉療法のハイブリッドナノ医療」(代表者)
 / ●京都大学複合原子力科学研究所「Gadolinium を担持したナノ粒子による Gd-NCT の基礎研究」(協力者) / ●大阪市立大学人工光合成研究センター「光触媒的合成化学反応の開発」/ ●佐賀大学シンクロtron光応用研究センター「角度分解光電子分光を用いたチタン酸化物の電子構造の研究」